

2025-26 RIテーマ

**UNITE
FOR
GOOD**

 よいことの
ために
手を取りあおう

WEEKLY

Rotary

Club of Toyohashi

RI D2760



2025-26 クラブテーマ

 「話があり、和をもち、
そこに大きな輪をまわそう」
～心を耕し、心に種をまき、奉仕の花を
皆の心に咲かせよう～


1950年8月10日創立

RCCについて

社会奉仕委員会担当

TEC(豊橋教育サークル)「教育現場からの報告」

TEC代表あいさつ

鈴木 一真 校長



義務教育を修了した日本の15歳の学力は、OECD生徒の学習到達度調査によると、数学的・科学的リテラシーが1位、読解力が2位という結果だそうです。一方で、自力で学校の勉強に

取り組むことへの自信については、37カ国中34位という結果だそうです。この結果を見ると、日本の子ども達は、勉強はできるが自信が持てないと捉えることができます。世界の中で活躍できる人になるには、ある程度自信を持って物事に当たっていけることが大切です。そのためには、非認知能力を育てる必要があります。本日は、鈴木拓之教諭から、「非認知能力」に焦点を当てた実践について発表してもらいます。また、豊橋市の生徒指導の先頭に立って牽引している3名の教諭から市内の現状をお話ししてもらいます。皆さまに学校教育の現状を把握していただければ幸いです。

 小・中学校のそれぞれの生徒指導研究部長より
各学校の様子を発表

亀山 恵介 教諭



小・中学校の情報交換会で挙がった問題行動の中には、児童買春や虐待といった大人が加害者となっている事案も少なくありません。子ども達の健全な成長や発達のためには、我々大人や社会全体が変わらなければいけないと常日頃から感じています。私たち教員にできることは微力かもしれませんが、問題解決のために取り組んでいきたいと思ひます。

倉内 勝洋 教諭



現在、多くの小学校で不登校の生徒がいますが、スクールカウンセラーや外部の機関、修学旅行等の大きな行事、グリーンルームの利用などをきっかけに、少しずつ生徒が学校に足を向けることができているという状況です。また、小学生の問題行動としては、暴力行為や性的な嫌がらせ、公園の物を壊すといったものが挙がっています。また、悪いことばかりではなく、子ども達が主体となった、あいさつ運動や集会開催がいくつかの学校で報告されています。今後、問題行動が目立つのではなく、児童の良いところが目立つような学校が増えてほしいと期待しています。

中村 祥征 教諭



中学生の不登校が増えている原因として、一番多いのは学力不振です。現在、進路では私立高校がとても人気となっています。更に、通信学校や専門学校に進学する生徒も増えています。

毎日学校に通うのは難しいので、週に2、3回のペースで通うという形が増えてきているのが現状です。子ども達は素直で良い子ばかりですが、心の弱い子がとても増えたと感じています。そこで大切なのが「かかわり合い」になります。地域の方と協力して、様々なコミュニティーを繋げ、かかわり合いを増やしていくことが生徒の心を強くしていくのではないかと思います。

 実践発表「非認知能力に焦点をあてた自己指導
能力の育成」

鈴木 拓之 教諭



昨年の中学3年生のクラスで行った実践を発表させていただきます。4月にクラスでアンケートを行った結果「楽しいことやその場の雰囲気に流されずに自分の行動を決めることができますか」という質問に対して、約半数が「自信がない」という回答でした。また「目標を持って前向きに取り組むことができますか」という質問にも半数以上の生徒が「できない」「あまりできていない」と回答しました。

この結果から、生徒達には自分の成長に繋がる行動を選択していく力である「自己指導能力」の育成が必要だと考えました。そこで、目指す子ども像を「自分の進路実現に向けやるべきことを考え、前向きな自己決定ができる子」とし、実践を進めていくことにしました。

自己指導能力を高めるためには「非認知能力」の育成が重要であると考えました。非認知能力とは、学力テストで測れない、個人の行動や意思決定、社会的適応に大きく関わる内面的な力のことで、自己肯定感や自己認識、向上心、レジリエンスなど多岐にわたります。

このことから、非認知能力を高め、それを生かした自己決定の場をつくれれば、前向きな自己決定に繋がるであろう。また、確かな自己省察と他者評価があれば、あらゆる非認知能力のベースとなる自己認識や自己肯定感の向上が期待でき、前向きな自己決定に繋がるであろう。と考え、手立てを実施しました。

抽出生徒のA子は非行傾向や自傷行為がみられ、勉強

面でも粘り強く取り組むことが苦手です。アンケートでは、やって良いことといけなことの判断できるようにしたいと書いており、自分を変えたいと思っています。手立てを実施した結果、A子は自己認識が向上し、非認知能力も育ち、自己選択の機会を作り続けたことで、自分自身の成長に繋がる自己決定をすることができるようになりました。その結果、1年間非行傾向の子と関わることなく、大きなトラブルもなく過ごすことができ、本人の第一志望の進路に進むことができました。

学級全体では、非認知能力が育ったことを実感でき、前向きな自己選択を積み重ねることで自分の成長につなげられる生徒が多くいました。結果として進路実績の面でも2人は残念ながら第一志望に合格できませんでしたが、他の生徒達は全員第一志望に合格することができました。

主旨説明

野寄 誠三 社会奉仕委員長



豊橋RCの支援するTECは、1993年に第2760地区初の認証を得たRCであり、今年で32年目となります。

インターネットの出現により社会が変わり、スマホやSNSの登場により、教育環境は大いに変わっています。本日は、現役の先生方に専門知識についてお話いただき、ロータリアンとして何ができるのかを考える機会になれば幸いです。

会長挨拶

江崎 雅彰 副会長



私の子どもの頃、失敗や悪さに対して真剣に叱ってくれたからこそ、今の私があり、とても感謝しております。

今の時代は教育現場をはじめ様々な場面、法に触れずとも少しでも道徳的に問題がある言動は叩かれる時代となっています。「寛容」とは「広い心で他者の意見や行動を受入れ、誤ちを厳しく責めないこと」です。この言葉が流行語大賞になれば良いと思います。そしてこの「寛容」こそが子ども達の能力を最大限に引き出すのではないかと考えます。本日は指導教員の方々に、教育の最前線のお話をいただきます。

会長報告

- 2024-25年度ロータリー財団年次寄付優秀クラブ表彰状が届きました。
- ロータリー日本財団より、認証状・認証ピンが届いています。
■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
3回目 松坂 良太 会員
■ポール・ハリス・フェロー 植村 忠慶 会員
- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より「米山功労者感謝状」が届きました。 第3回 伊藤 健一 会員

幹事報告

山本 貴浩 幹事

- 地区大会実行委員会よりお礼状が届いています。
- ロータリーマガジンが届いています。
- 次週27日の例会は休会となります。
- RⅠ第2600地区 地区大会へ村井PG、紅林直前会長、近藤会長エレクト、山本が参加してまいりました。後日報告いたします。

ニコニコBOX

佐藤 裕彦 ニコニコ委員

- TEC代表の鈴木一真校長先生はじめTECの先生の皆さま、本日の報告発表を楽しみにしております
江崎 雅彰 副会長 山本 貴浩 幹事
- 本日の例会は諸事情により欠席となり申し訳ございません。先週の11月13日より山岳民族定住化支援事業でタイへ行き、無事帰国致しました。初めての訪問で、素晴らしい支援事業に改めて感動致しました 井川 和英 会長
- 初めての会長代理あいさつをさせていただきました
江崎 雅彰 副会長
- 本日の例会を担当させていただきます
野寄 誠三 社会奉仕委員長
- 本日の例会、楽しみにしております。野寄委員長頑張ってください
長屋 麻衣子 ニコニコ委員長 笠原 元樹 会員
- 11月15日、16日両日で開催されたRⅠ第2600地区の地区大会に参加して来ました。松本南RCの小林磨史ガバナーがリーダーシップを発揮された心温まる素晴らしい地区大会でした
村井 総一郎 PG 紅林 友昭 直前会長 近藤 真 会長エレクト 山本 貴浩 幹事
- 地区大会1日目の「青少年フォーラム」で地区ロータリーアクトの活動報告をさせていただきました。2日目のロータリーアクトの「能登復興支援募金」では、豊橋RCの多くの皆さまに、ご協力いただきありがとうございました
柳原 茂 地区ロータリーアクト委員長
- 11月8日、9日地区大会にてポリオ根絶のための募金活動にご賛同いただきましてありがとうございました。2日間で総額1,370,533円集めることができました。ポリオ根絶まであと少しです。今後も事あるごとに募金活動を行います。ご協力をお願い致します
久保田 充三 地区ロータリー財団補助金委員
- 11月13日から17日にかけて、タイ国へ国際奉仕事業へ行ってまいりました。チェンライ県ラックペンディング村周辺地域の児童生徒へ支援金等を届けると共にベンジャシリRCの皆さんと友情を深めてまいりました
井川 和英 会長 河合 勝男 森田 通夫 高山 景一 佐々木 利政 井上 泰宏 岩瀬 清 笠原 元樹 各会員 植村 忠慶 国際奉仕委員長 (順不同)

お誕生日おめでとうございます

| | |
|--------------------|-------------------|
| 岩瀬 清 会員(11月25日生) | 疋田 涼 会員(11月26日生) |
| 江崎 雅彰 会員(11月27日生) | 山田 享司 会員(11月27日生) |
| 村井 総一郎 会員(11月28日生) | 井上 泰宏 会員(11月29日生) |
| 大塩 啓太郎 会員(11月30日生) | 中村 勝彦 会員(11月30日生) |

歌

ソングリーダー 山本 光伸 会員

「あの素晴らしい愛をもう一度」

本日のゲスト

| | |
|-------------|---------------------|
| TEC代表 | 鈴木 一真 氏 (豊橋市立牛川小学校) |
| 小中学校教科等指導員 | 亀山 恵介 氏 (豊橋市立岩田小学校) |
| 中学校生徒指導研究部長 | 倉内 勝洋 氏 (豊橋市立高豊中学校) |
| 小学校生徒指導研究部長 | 中村 祥征 氏 (豊橋市立新川小学校) |
| 生徒指導研究部員 | 鈴木 拓之 氏 (豊橋市立松山小学校) |

本日のビジター

豊橋北RC 3名 豊橋ゴールデンRC 2名 計 5名

出席報告

山本 貴浩 幹事

| | | | |
|-------|------|-------|-----------|
| 当日出席者 | 46名 | 計算会員数 | 84名中38名欠席 |
| 総会員数 | 110名 | 出席率 | 54.76% |

例会予定

今回のプログラム

12月4日(木) 年次総会、インシエーションスピーチ

- 12月11日(木) ラックペンディング村を中心としたチェンライ北部地区訪問の報告会
- 12月18日(木) ●年末家族会(夜間)
- 12月25日(木) 休会

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

